

柏崎刈羽原発
再稼働 許していいのか 1.11集会
～新潟の未来のため 徹底討論～

会津放射能情報センター 代表
柏崎刈羽原発運転差止請求訴訟 原告
片岡輝美

3月15日は弱い北東の風が内陸部へ
3月16日未明から、強風が内陸部から海側に流れる

第一原発付近は
北西、西から強風
きょうから
気象庁は十五日午後
の予報で、福島第一原
発付近の風の状況につ
いて、十六日未明以降
十九日ごろまでは、北
西または西からの強い
風が吹くとみている。
このため同原発から放
出された放射性物質
は、この間は内陸部か
ら海側方向へ流れると
みられる。
同庁予報課による
と、この付近では十五
日昼ごろまでは、海側
から内陸方向に五日前
後の弱い北東の風が吹
いていた。
福島地方気象台によ
ると、十六日の県内は
中通り、浜通りが曇の
ち晴れ、会津は雪の見
込み。

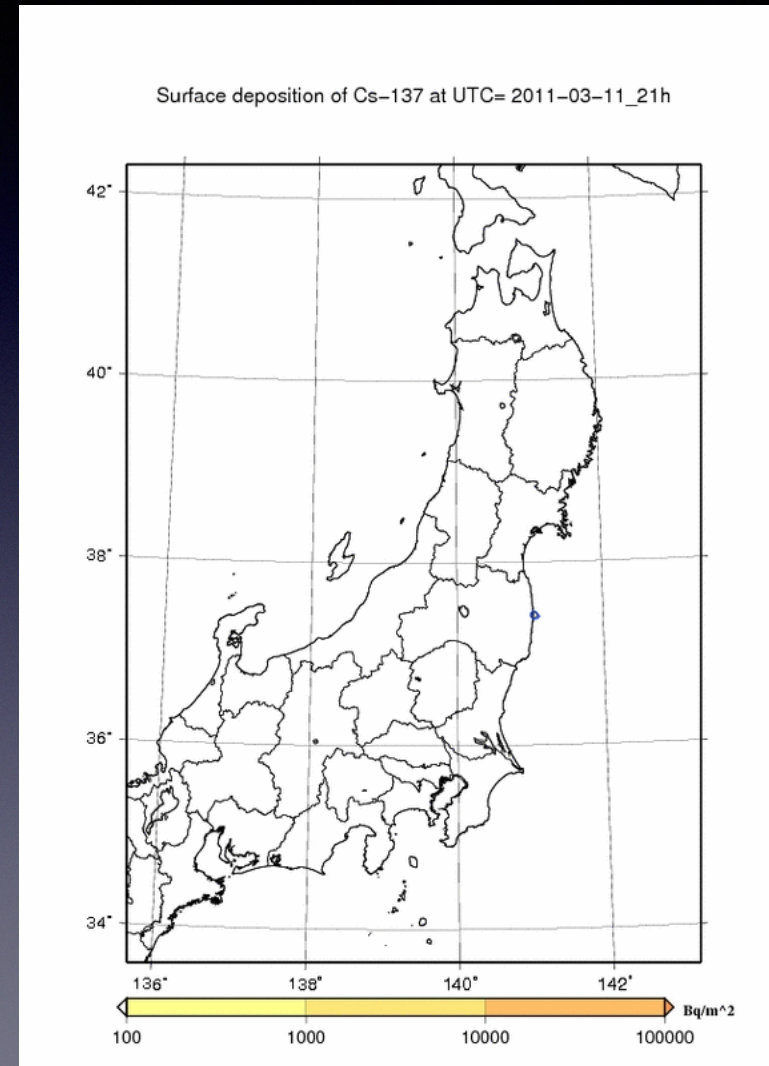
福島民報 2011年3月16日

福島第一原発から空中に放出された
高濃度放射性物質の8～9割は、偏西風によって
太平洋の海と空に流れた

大地や海に広がる放射能汚染

日本原子力研究開発機構
発表

東日本におけるCs-137の
広域拡散と大気降下量
3月12日～4月30日までの
シミュレーション



トモダチ作戦で放射線障害に陥った米兵たち



えにし書房



朝日新聞出版

モニタリングポストの大量撤去 リアルタイム線量測定システム



2011年～2013年
県内に約3千台設置

2018年3月、原子力規制庁
約2400台の撤去
空間線量は安定してきた
維持費の確保が困難

各自治体、原子力規制庁への 要請行動が続く



避難者を受け入れてくださった
新潟県の自治体や市民の皆さま

会津放射能情報センターの活動



ハガキアクションはいかがでしょうか？



最高裁第二小法廷

草野耕一様、岡村和美様、尾島明様、三浦守様

原発事故被害者の声を聴いてください！

2024.7.20

まだいふ、福島原発事故が、
たかのように振る舞いのこの国に
多くの子供たちの、そして市民の
命が脅かされています。今もまた
被害の被害は続いています。

裁判官の皆さん、証拠に
きちんと向き合い、事実認定の
おかしさを指摘し、
まっとうな判断をして
下さいますようお願いいたします。



住所 東京都八王子市

氏名

最高裁第二小法廷

草野耕一様、岡村和美様、尾島明様、三浦守様

原発事故被害者の声を聴いてください！

私は 2011年10月19日 生まれ
です。今、中学3年生です。

私と同じ年の人が 苦しい
思いをし、将来

感じているのは イヤです。

その人の パパ・ママが
悲しんでいるのも
イヤです。 悲しい思いを
している人の助けになって下さい。



住所 茨木市 郡山

氏名

主権者として...

東京電力福島第一原発核災害を忘れない
再稼働反対、脱被ばくの声을上げ続ける
安心して生きる権利を諦めないこと

あとに続くいのちのために！